



外来植物調査ニュースレター

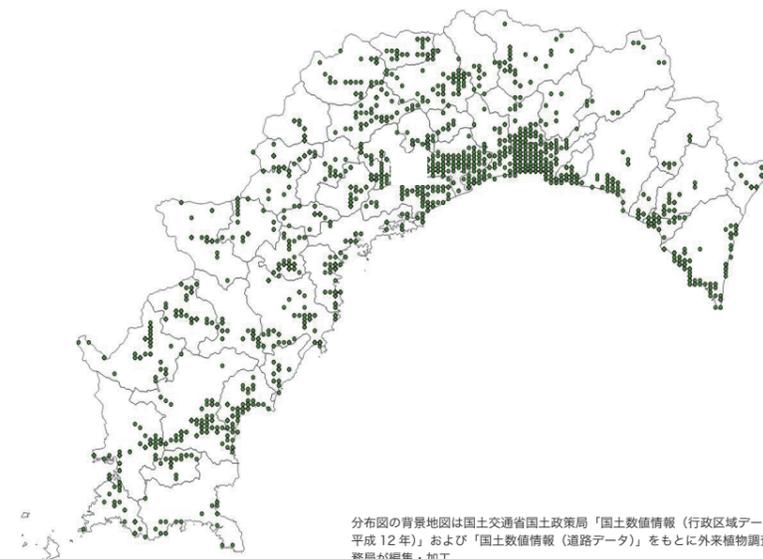
2017年調査結果の概要

高知県の外来植物の分布と生育状況を把握し、生物多様性保全に向けた基礎資料を作成することを目的に、2016年7月から外来種予備調査をスタートしました。2017年4月からは、高知県でこれから分布を拡大すると予測される外来種5種を選定し、「みんなで調べる高知県の外来植物調査」として広く県民の皆様に参加を呼びかけた調査と、調査ボランティアが中心となり旧市町村ごとに生育する全ての外来植物を調査する「ブルーリスト調査」の2つの方法で2カ年計画の外来種調査を行っています。ブルーリスト調査では、県内に生育する外来植物の市町村別分布リストを作成し、高知県における「注意すべき外来種」をリストアップします。調査を市民協働で行うことで、身近な自然の変化に気づき、外来植物に対する関心を高め、生物多様性をみんなで守っていく機会にしたいと考えています。

これまで収集されたデータは5,102件、161名の方々に協力いただきました(2017年12月末末

で)。調査で採集された外来種は418種、国内帰化種(他県には自生しているが、高知県に元々自生していない種)4種、国内移入検討種(高知県に自生している種だが、採集個体は移入と思われる種)4種でした(2-3頁表1)。このうち、シロガラシ(アブラナ科)やハイクサネム(マメ科)、オトメフウロ(フウロソウ科)など30種が県内で新たに確認されました。

サンプルが採集された地点を図1に示しました。高知市周辺や海岸部、国道沿いで多く、県内974地点で採集されています。生活圏周辺で調査・採集が容易であったことも考えられますが、県内での外来植物の生育状況は、市街地を離れるにつれ外来種が少なくなる傾向があるようです。2018年の調査では、さらに正確な分布が把握できるよう、網羅的に調査を行う予定です。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



分布図の背景地図は国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域データ、平成12年)」および「国土数値情報(道路データ)」をもとに外来植物調査事務局が編集・加工。

図1. サンプルが採集された地点。



写真1: 調査の様子。



写真2. 県内で新たに確認されたオトメフウロ。

■外来種被害予防三原則を守りましょう!

高知県の生物多様性を守るために、私たち一人一人が三原則を心がけていきましょう。

1. 入れない ~悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「入れない」
2. 捨てない ~飼養・栽培している外来種を適切に管理し、「捨てない」(逃がさない・放さないことを含む)
3. 拡げない ~既に野外にいる外来種を他地域に「拡げない」(増やさないことを含む)

引用: 環境省 HP (<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html> 2018年1月17日閲覧)

■調査について

「みんなで調べる高知県の外来植物」の調査対象5種は確認した全地点での調査をお願いいたします。
※オオキンケイギクは特定外来生物です。採集時にはタネができていない若い花を選び、タネがこぼれないよう取り扱いに十分に注意してください。採集後は袋等に密封して移動させてください。

■今後のスケジュール

- 2018年3~11月 第二期調査期間
- 2018年12月 データ集計開始
- 2019年2月 ニュースレター発行、実行委員会開催

多くの皆さまにご協力いただきました。お礼申し上げます。

このたびの外来植物調査を含め、これまで高知県の調査活動に多大な貢献をしてくださった調査ボランティアの川村恒介氏が2017年7月末に急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。

調査にご協力くださった方々・団体 (五十音順、敬称略)

青木芽衣、青木佳子、浅川幸子、足達菜葉、新城颯太、池内恭子、池内由美子、池田十三生、石川慎吾、市川広基、市村聖子、伊藤万里子、稲垣典年、井上幸、猪野律、岩田美緒、岩田悠志、上田悠磨、上野守幸、魚澤伊佐子、宇賀裕生、宇田英一、江口秋美、榎弘實、大倉浩典、大崎昭雄、大谷由香、大野清志、大野美香、大川卓海、小笠原彰子、岡村志保、小川大輔、沖上茂人、奥宮鈴子、小原正江、片岡信一、鎌倉昭夫、川村恒介、川村近子、北添修、木伏克実、木村宏、キャメロンキルガワー、楠瀬雄三、國澤厚仁、栗原妙子、鴻上泰、河野京弥、古谷真二、小松冨、近藤英文、近藤由美、酒井恵子、酒井隆昌、酒井泰一、坂本彰、笹岡宗生、佐々木英男、佐々木康子、佐田博子、里見和彦、嶋崎恵美子、島崎和子、島田有美、清水謙次郎、下村憲一郎、下村公水、新谷宗義、杉本清子、瀬尾明弘、関田泰子、高橋裕子、高橋真起、竹内清治、竹内隆、竹内久宜、竹田茂男、武市和枝、田城松幸、田城光子、谷サダ子、谷種子、玉井恭一、田村麻美子、田村満香、田村勇勝、近森政一郎、辻井綾香、筒井徳和、恒石真帆、手島敬子、戸梶友子、中石シゲ、長岡唯一、中田麻祐子、中平勝也、中平謙一、中屋則夫、馴田正満、西岡小夜子、西岡潤、西岡ミツ子、西澤敬子、西村善則、奴田原藻子、野島ひとみ、野瀬美智、萩野善久、橋本季正、馬場誠、馬場由実子、濱田紀子、伴ノ内珠喜、樋口延幸、廣岡エリカ、廣瀬真智、深田英久、深田理恵、福原宏、藤岡ユカ、古沢政光、細川公子、細川敏水、堀内和美、堀尾朝代、堀清鷹、前田綾子、前田博史、又川和男、松岡亜矢子、松本孝、松本忠博、松本満夫、眞野晴江、宮崎貞子、宮本一花、宮本恵子(高知市)、宮本恵子(土佐市)、森澤仁世、森繁、森野高明、矢野愛子、矢野啓介、山岡和興、山岡重隆、山崎憲男、山崎廣、山下修、山下幸利、山中直秋、山中まゆみ、山ノ内崇志、山本喜一、山本淳子、山本大祐、山本多恵、山本幸恵、依光忠宏、高知県畜産試験場、高知県土木部河川課

外来植物調査は高知県受託事業「外来種(植物)生育分布調査業務」および公益財団法人日本科学協会笹川研究助成「ストップ the 外来植物」によって行われました。

外来植物調査実行委員会 / 委員長: 鴻上泰、事務局: 田邊由紀・藤川和美・川谷律・新谷直子・栗原妙子・坂本彰

